

第1回 大阪府立東淀川支援学校 学校運営協議会 議事録

○日 時 令和6年6月13日(木) 10:00~12:00

○場 所 本校図書室

内容・発言者	内 容
開会・北條教頭	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度 第1回 大阪府立東淀川支援学校運営協議会の開会。 ・全体進行(教頭北條)の挨拶。 ・議事進行を会長が行うことの確認。 ・委員出席5名。過半数を満たし、会の成立確認。 ・傍聴者0名を確認。
委員紹介・奥井校長	<ul style="list-style-type: none"> ・校長挨拶。 ・出席委員の紹介。 ・事務局メンバーの紹介(事務長、教頭2名、首席4名、教務総務部長)
資料説明・北條教頭	<ul style="list-style-type: none"> ・学校運営協議会実施要項、傍聴規則、学校経営計画の確認。 ・令和6年度 使用教科用図書(選定・採択)一覧表。
会長の決定・奥井校長	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度に引き続き大阪成蹊大学教育学部教授 鈴木克彦様に決定。
議事・鈴木会長	<ul style="list-style-type: none"> ・鈴木会長あいさつ、議事進行。
学校経営計画説明・奥井校長	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度学校経営計画の進捗状況について説明。 <ul style="list-style-type: none"> ・めざす学校像 ・中期的目標(3箇年の計画) ・本年度の取組内容及び自己評価(4つの項目)
議事・鈴木会長	<ul style="list-style-type: none"> ・学校経営計画に対する質疑応答
質疑・橋本委員	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業後の進路として卒業生を受け入れているが、学校で行ってきた支援内容で取り入れられるものがあれば教えてほしい。
応答・奥井校長	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもを真ん中においてともに考えていきたい。そのためにも企業や事業所と日々の関わりの中で連携していきたい。
質疑・古田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・同じ学校の立場として、2つ質問。①学校経営計画について、府立学校の策定指針は何か。②センター的機能の役割を詳しく教えてほしい。
応答・奥井校長	<ul style="list-style-type: none"> ・①府立学校は大阪府第二次教育振興基本計画に沿って進めている。また大阪府教育庁から指示事項として年度ごとの力点を示され、それを踏まえたうえで計画を立てている。 ・②支援教育での取り組みや各校での児童生徒の困りごとや支援について、本校の教員が出向いて一緒に考えながら助言等を行っている。そのためにリーディングスタッフ等を配置している。
質疑・古田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・支援学校だけではなく、一般の小学校・中学校などにも支援しているということか。支援する範囲はどこまでか。
応答・奥井校長	<ul style="list-style-type: none"> ・一般の小中学校に支援を行っている。本校の対応範囲は校区(東淀川区・淀川区・西淀川区・豊中市南部)で行っている。
議事・鈴木会長	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も地域支援を進めてもらいたい。

質疑・寺田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・地域からの要望を2つ挙げたい。①大規模災害時の避難所としての取り組みを知りたい。大規模災害時はむくのき学園だけでは地域の人々を収容しきれない。②地域へ向けての情報公開はどのように考えているか。昨年から児童生徒の作品等を見せてもらい、その素晴らしさを実感したので、販売など行う機会があれば子どもたちの励みになるのではないか。地域のまつりや行事などで、児童生徒の作品を説明する機会があればありがたい。
応答・奥井校長	<ul style="list-style-type: none"> ・①開校時の教頭として、地域のみなさまと本校を避難所として使用した場合を想定した図上訓練等をはじめとして、様々なかたちで連携させていただいてきた。今後地域のみなさまとの連携は重要。また能登半島地震では学校のグラウンドが隆起・陥没する事態が発生する等、今までの防災の常識が通じなくなることも想定しなければならないと感じた。 ②本校の情報公開や地域との交流について、地域のみなさまに入っただけのように進めていきたい。また今年度から販売学習を行うが、「障がいがある児童生徒が作ったもの」ではなく、「製品」として遜色ないものを地域へ提供できるようにしたい。
議事・鈴木会長	<ul style="list-style-type: none"> ・防災について昨年度の学校運営協議会でも伝えたが、児童生徒全員のヘルメット購入を整備してほしい。また地域との連携は、防災でもその他の部分でも極めて重要。
質疑・三木田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが小学部に在籍しているが、将来についてはまだ見通しをもつところには至っていない。だが子どもの成長は感じており、小学部低学年の児童の保護者にそうした思いを知ってもらいたい。また販売学習については、子どもは中学部・高等部の先輩に憧れており、自分たちが作ったものを先輩方が製品に完成させてくれることを喜ぶと思う。本校は学部間に交流があるので続けてほしい。ホームページについては学校ブログに文章と写真を一緒に掲載すると子どもも見やすいと思う。
応答・奥井校長	<ul style="list-style-type: none"> ・上級生や先輩への憧れの気持ちを、キャリア教育の連続性として学校づくりに活かしていきたい。
質疑・古田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・むくのき学園は写真中心だが本校は文字が多いのは、府立学校のホームページにフォーマットがあるからか。写真は子どもたちの活動をいきいきと伝えられる。
応答・奥井校長	<ul style="list-style-type: none"> ・十年かけて作ってきた形式だが改善すべき点も多いので、見たい情報に簡単にアクセスできるように改善していきたい。
議事・鈴木会長	<ul style="list-style-type: none"> ・議事終了。
進行・北條教頭	<ul style="list-style-type: none"> ・教科用図書選定について、採択基準に関する説明。
議事・鈴木会長	<ul style="list-style-type: none"> ・一覧表にある教科用図書選定について、質疑応答。
質疑・古田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・大阪市の学校は四年に一度選定するが、支援学校は毎年選定するのか。
応答・奥井校長	<ul style="list-style-type: none"> ・各学校の児童生徒に合ったものを毎年選定している。
補足・河井教頭	<ul style="list-style-type: none"> ・まず大阪府教育庁で選定資料が編成され、その中から各支援学校で児童生徒に合ったものが選定される。
応答・奥井校長	<ul style="list-style-type: none"> ・各学校で児童生徒の学年ごとの発達段階に応じて選定される。
議事・鈴木会長	<ul style="list-style-type: none"> ・議事終了。

<p>進行・北條教頭 報告・池田首席 補足・奥井校長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本校は今年で開校10周年にあたり、その取り組みについて池田首席より説明。 ・昨年度に記念企画のために10周年企画委員会が設置された。今年度は新しい学校のキャラクター作成など、6項目の「チャレンジ」を行う。 ・新しいキャラクターは地域のシンボルツリーである「むくのき」をモチーフに、多様性もイメージして表現している。
<p>進行・北條教頭 説明・奥井校長 古田委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「大阪教育ゆめ基金」について説明。 ・ふるさと納税の制度を利用し、母校を応援するための基金制度。本校ではキャリア教育・販売学習にこれらの基金を活用していきたい。 ・5月25日(土)に本校教員が学校付近で交通事故に遭ったが、むくのき学園の児童3人が介抱してくれた。思いやりと勇気にあふれた無私の行為だ。 ・その話を聴いて全校児童生徒の前で紹介した。
<p>進行・北條教頭</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本日の議事の要旨につきましては公開となる。事前に各委員に内容の確認をさせていただく。 ・年間予定として原則としては年間3回の開催。 ・次回第2回は進捗報告に対するご意見をいただく。 ・第3回は令和6年度及び令和7年度の学校経営計画へのご意見をいただく。
<p>閉会・奥井校長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・閉会の挨拶。